

THE QRP NEWS

The Official Journal of the JARL QRP CLUB vol.69

発行人

JE1UCI 富川 寿夫

編集人

JN3DMJ 松本 貢一



小さなパワーで大きな感動

QRP: Small Power, Big Dreams!

JARL QRP CLUB 会報 2026年5月16日発行 vol.69-01-Public
公開版（会員限定会報の一部を公開しています）

会長就任挨拶

JE1UCI 富川 寿夫（ふかわ としお）です。今年より会長という重責を担う事になり、70年もの歴史あるクラブですので身の引き締まる思いです。これまでは監査役でしたので、クラブ員の皆様には引き続きよろしくお願い致します。もちろんアマチュア無線のクラブですので、趣味の集まりです。楽しくなければ意味がありません。そのような意味では、役員会が一番楽しく「役員になりたい」と思って頂けるのが理想だと思っています。

ところで JARL QRP CLUB は、今年で創立 70 周年という節目になります。11 月には記念式典がありますので、クラブ員の皆様、是非とも参加をお願い致します。皆様の御協力で盛大な行事にして下さい。

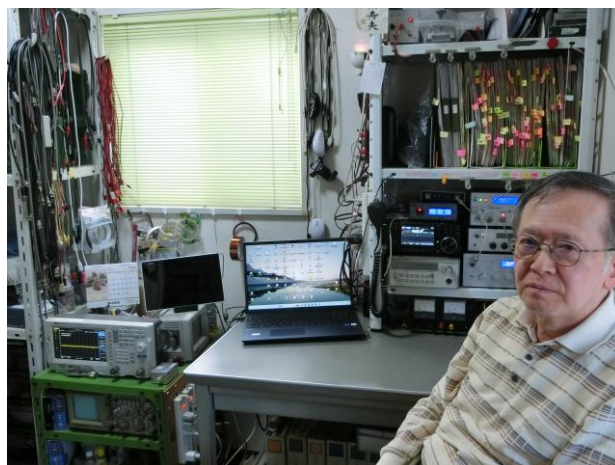


写真1 最近の様子

JARL QRP CLUB 会長 JE1UCI 富川 寿夫（ふかわ としお）

CONTENTS

会長就任挨拶	JE1UCI	富川 寿夫	1
【運用】NHK ラジオはどこまで聴こえる??	JG1SMD	石川 英正	※
【レポート】ネット QRP 懇親会報告	JN3DMJ	松本 貢一	2
【新入会員紹介】		(編集部)	※
【会員の近況報告】		(編集部)	※
【お知らせ】新役員・監査役紹介		役員・監査役	7
【お知らせ】2025 年度役員会 (2026 年春) 議事録		旧役員・監査役	※
【お知らせ】2026 年度役員会 (春) 議事録 (「2025 年度会計報告」、 「2025 年度監査報告」、「2026 年度予算」を含む)		役員・監査役	※
【お知らせ】JARL QRP CLUB からのお知らせ	JN3DMJ	松本 貢一	14
【編集後記】	JN3DMJ	松本 貢一	14

※：会員限定

【運用】NHK ラジオはどこまで聴こえる??

#988 JG1SMD 石川 英正

※会員限定※

【レポート】ネット QRP 懇親会報告

#650 JN3DMJ 松本 貢一

1. はじめに

ネット QRP 懇親会を 3 月 14 日 (土)、4 月 11 日 (土)、5 月 9 日 (土) に開催しましたので報告します。

原則として毎月第 2 土曜日 (ハムフェア、全国集会の月は開催しない予定。都合により変更あり) の 15~18 時としており、懇親会の内容は「発表」、「情報提供」、「無線機の自作等の相談」等としております。土曜日のご都合が良くない方がいらっしゃるようなので日曜日も混ぜようと思います。製作の話題が多いですが、運用の話題も歓迎いたします。

2. 3 月度の報告

3 月 14 日 (土) 15~18 時に開催し、16 名が参加しました (写真 1)。発表、情報提供案件を表 1 に示します。

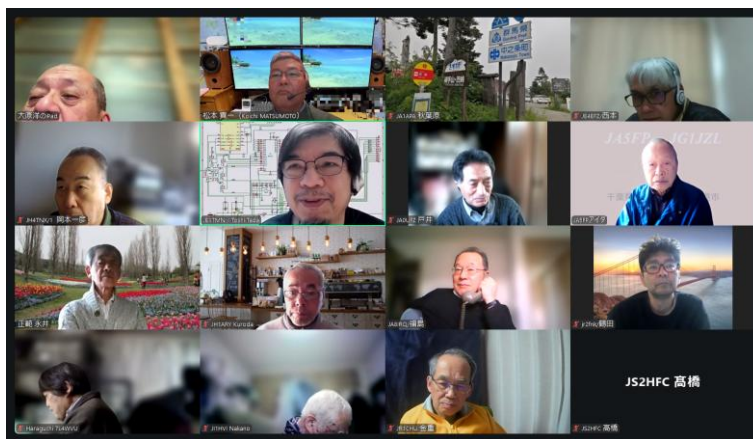


写真1 3月度のある時刻における参加者

JA8IRQ 福島さん（左から3列目、上から3行目）は別の電話をしているように見えますが、後述の「電話のハンドセットを接続するための機械」を使用してこの懇親会（ZOOM）で会話中です。

表1 3月度の発表、情報提供案件（発表順）

JG3ADQ 永井さん	プリント基板の購入先と価格についての情報提供 （ここから発展して、基板外注や KiCad の話題）
JA8IRQ 福島さん	加入電話の送受話器を用いたトランシーバの製作 （の準備として、ZOOMでのカーボンマイク利用）
7L4WVU 原口さん	今、試作している ARDF 受信機とアンテナについて
JA0UFZ 戸井さん	SDR ソフトの高速化改善 昨年製作した SDR 無線機のソフトにつき、全体の処理時間を 80%短縮。短縮の方策や内容を発表。
JS2HFC 高橋さん	4チャンネル・メモリ PIC キーヤーOIkey F88 （CQ 誌 2008 年 6 月号付録）

JA8IRQ 福島さんの「電話のハンドセットを接続するための機械」の写真・回路図は写真 2,3、図 1 の通りです。今回のネット QRP 懇親会はこの機械を使用して参加されましたが、今後 6m AM トランシーバに組み込みたいとのことです。

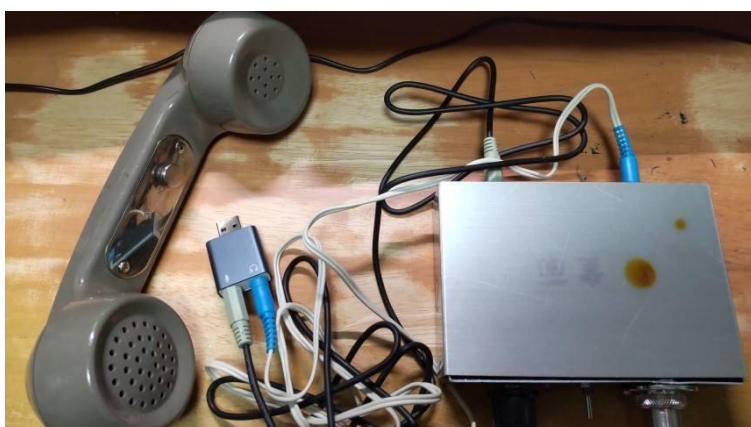


写真2 電話のハンドセットを接続するための機械(1) (JA8IRQ 福島さん)



写真3 電話のハンドセットを接続するための機械(2) (JA8IRQ 福島さん)

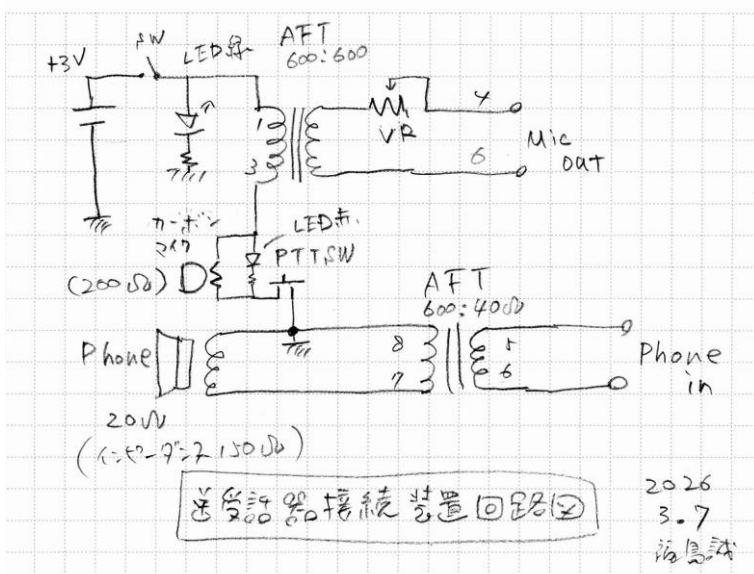


図1 電話のハンドセットを接続するための機械の回路図 (JA8IRQ 福島さん)

7L4WVU 原口さんの X のページでは、製作した ARDF 受信機（アンテナと合体）で方向探知している動画が公開されています（室内で SG の信号を受信）。

<https://x.com/7L4WVU/status/2019888689686704389>

表1のほか、1200MHz帯で FT8 モードを使用するための局発安定化についての議論がありました。

3. 4 月度の報告

4 月 11 日（土）15～18 時に開催し、15 名が参加しました（写真 4）。発表、情報提供案件を表 2 に示します。

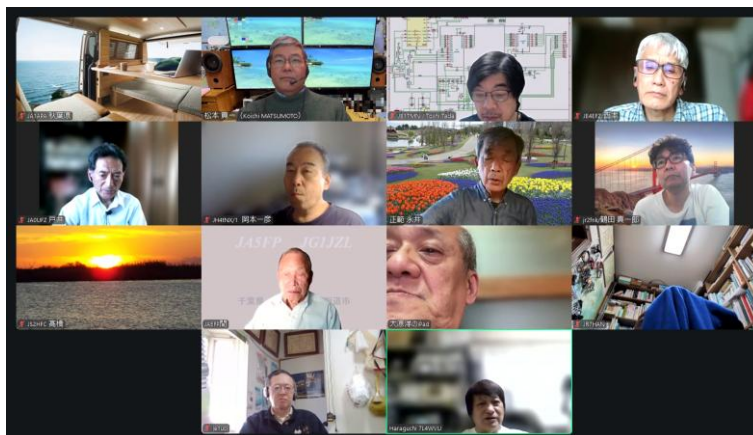


写真 4 4 月度のある時刻における参加者

表 2 4 月度の発表、情報提供案件（発表順）

JA0UFZ 戸井さん	SDR ソフトウェアの高速化 (SPI の DMA 化) : 波形や FFT の表示関係に DMA を導入して高速化した事例を紹介
7L4WVU 原口さん	ARDF 用 145MHz 3 エレ八木アンテナの製作
JR2FNK 鶴田さん	簡単に構築できる全文検索サーバー FESS について
JG1CCL 内田さん	ハムフェア 2026 での頒布予定品紹介 HHE-163 RS-501 Walkie-Talkie (6m AM 250mW) RS-501 TX SSB (6m SSB 100mW) Line follower Robot、LED Walkie-Talkie アクセサリ (ピアス、キーチェーン)
JA5FP 間さん	ハムフェア 2026 展示予定品の紹介 (LED 60 個使用)

(注) SPI: Serial Peripheral Interface、DMA: Direct Memory Access

7L4WVU 原口さんの「巻尺を使った ARDF 用 145MHz 3 エレ八木アンテナ」が写真 5 に示されます。



写真 5 巻尺を使った ARDF 用 145MHz 3 エレ八木アンテナ (7L4WVU 原口さん)

表2のほか、KiCadで表示されるエラー・警告への対処、以前から継続している、スプリアス発射および不要発射（特にCW送信機）の測定の議論をしました。

4. 5月度の報告

5月9日（土）15時～17:20に開催し、9名が参加しました（写真6）。発表、情報提供案件を表3に示します。

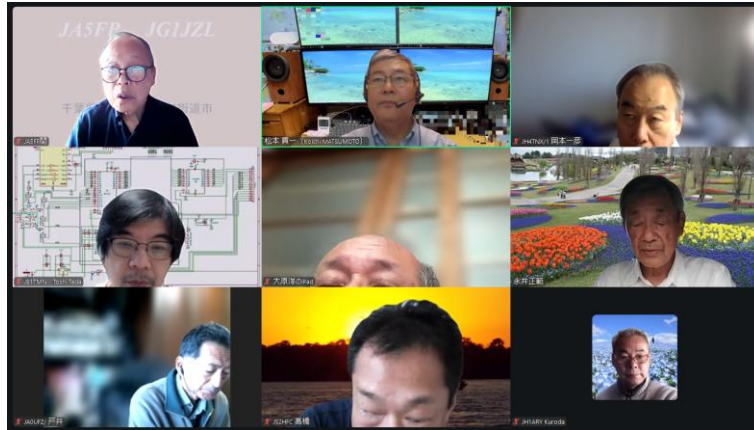


写真6 5月度のある時刻における参加者

表3 5月度の発表、情報提供案件（発表順）

JG3ADQ 永井さん	430MHz FM トランシーバの製作
JA5FP 間さん	「波の模型」に関連して、波が螺旋であることの説明 資料： https://www.catv296.ne.jp/~ja5fp/phase-traveling.pdf
JA0UFZ 戸井さん	・SDR ソフトウェア高速化の動作紹介 （動作画面のビデオキャプチャ） ・KiCAD 基板設計の進捗（SDR の ADC/DAC ボード）
JS2HFC 高橋さん	秋月電子の FM ステレオ・AM ワールドラジオキットほかの製作

5. おわりに

懇親会の申し込み方法ですが、日が近づきましたら会員のみなさま宛にメールで案内を出しますので、メールでお申し込みください。追ってZoom ミーティングに招待します。

懇親会参加の敷居を低くしたいです。近年入会会員も含め、全国の会員のみなさまのご参加をお待ちしております。無理に振ったりしないなど、安心して参加いただけるような運営に努めたいと思います。

【次回以後の予定】（変わることがあります）

6月14日（日）

7月11日（土）

【新入会員紹介】

※会員限定※

【会員の近況報告】

※会員限定※

【お知らせ】新役員・監査役紹介

2026年4月から3年の任期で新役員・監査役が選出されました。自己紹介を掲載いたします。
(JN3DMJ)

会長 #315 JE1UCI 富川 寿夫 (ふかわ としお)

当時の良くあるパターンですが、中学時代にラジオに興味を持ちました。その流れでアマチュア無線に興味を持ち、中学2年の時に電話級を取りました。高校2年の1972年に自作機でJE1UCIを開局し、6AQ5シングルで50MHzのAMに出ていました。その後高卒で就職し、国際テレックスの交換機を担当しました。クロスバー交換機の時代ですので、リレー回路ばかりを追っていました。古い技術と思われかもしれませんが、案外と今でも役に立っています。就職した1年後から近くの東京電機大学の夜間に通い始め、何とか4年で卒業しました。

社会人と学生の二刀流の4年間でしたが、ある意味ですが人生で一番忙しい時代だったと思います。この頃はアマチュア無線をQRTし、昼は会社で夜は学校でした。そして、休日は自転車旅行に精を出していました。これまでも会報には室戸岬、和歌山県の飛び地付近の写真を載せました。これで最後にしますが、日本一周完走直前の宗谷岬です。ここから30kmほど走った稚内駅がゴールでした。青春していました。



写真1 日本最北端の碑にて（個人的には青春の記念碑）

その後は再びアマチュア無線に戻りました。ハムフェアの自作品コンテストに応募するようになりました。アイコム社の BEACON にも連載を書きました。現在は FB ニュースと CQ 誌に連載を書いています。CQ 誌の連載は今年で終了します。未熟である事は良く承知していますが、いつの間にか自作界を引っ張るような立場になったようです。

JARL QRP CLUB には 1990 年頃に入会しました。この頃は会費の滞納もあって出入りを繰り返していたように思います。その 20 年後、ハムフェアで昼食を食べようと役員に付いていったのが監査役になったきっかけでした。14 年間の監査役で、このまま静かに終わるつもりだったのですが・・・。

CM の方は、1997 年から 300kW の短波送信所に転勤していました。趣味が仕事に、仕事が趣味に大いに役に立ったと思います。この送信所に 24 年間勤務し、現在は完全退職しています。個人的なキャッチコピーですが、「CM が 300kW なら趣味は 300mW で充分」です。もちろん送信所に転勤する前から QRP だったのですが、更に QRP で充分と思うようになりました。

副会長 #645 JA5DIM 林 章二

みなさん こんにちは。この度、副会長に就任しました JA5DIM/林 章二 (#645) です。今回で二期目の副会長となります。引き続きどうかよろしくお願いします。

生まれは 1955 年で、満 70 歳となりました。無線局の開局は 1968 年 9 月で、TRIO の 9R59D (キットを製作) と、6JS6A シングルの自作 AM・10W 機でスタートしました。開局当初は VFO が無く、水晶固定で QRV していました。離れた周波数 (スプリット) で呼んだり、呼ばれたりは当たり前の時代でした。

前回副会長に就任した 3 年前は会社勤めを続けておりましたが、昨年 3 月に全てのお仕事から引退し、現在はのんびりと年金生活を送っております。仕事を離れて時間が出来たので、家内と二人で旅行も楽しんでおります。去年はフィンランドへオーロラ探索旅行に出かけました。今年はどこに行こうかと探しているうちに中近東の紛争が激しくなってしまう、当面海外旅行は見合わせて終息するのを待っている状態です。国内旅行は先月沖縄の離島めぐりを楽しんでできました。二人での観光ツアーですので、移動運用する時間はあまり取れず、宮古島で短時間 QRP 運用できた程度でした。翌日の石垣島は天候が悪化して、北からの強風が吹き荒れ、運用できる状態では無かったのが残念でした。国内観光ツアーは楽しそうな行先を見つけてぼつぼつ参加しています。家族サービスのツアーなのであまり時間的な余裕は有りませんが、旅行先で時間が取れば QRP 運用を楽しんでみたいと思っています。

2024 年 10 月は地元今治の無線クラブ『愛媛しまなみクラブ』で『サイクリングしまなみの特別局 (8J5CS)』を運用しました。2 年に 1 度のサイクリングイベントですので、今年も 10 月に運用する予定です。アンテナシステムは 2020 年に少しグレードアップして HF 帯での運用は続けております。DX 狙いは QRO ぎみですが、国内向けには相変わらず QRP で楽しんでいます。

昨年 4 月に体を壊してしばらく入院していたことも有りましたが、その後何とか回復しましたので体が動く今のうちにあちこち旅行を楽しんでみようと思っています。また、一昨年網膜の異常が見つかり、治療のお陰で進行は止まりましたが、視力の衰えは回復できず、半田付け作業は難儀しておりますので自作は当分ストップです。



写真1 フィンランド



写真2 宮古島

事務局長 #650 JN3DMJ 松本 貢一

事務局長 3 期目となります、JN3DMJ 松本です。1964 年生まれ、和歌山県在住の 61 歳です。

私と電波・電子回路との出会いは、小学生時代にさかのぼります。BCL 受信機を買ってもらったものの使いこなせず、2 石ラジオキットや学研「科学」のゲルマラジオを組み立てても鳴らず——そんな「うまくいかなかった経験」が、今思えば原点でした。

中学や高校には無線部があったのですが、私はそちらには入部せず、写真部で 6 年間写真を撮っていました。ただ、高校時代に奥沢清吉氏の「はじめてトランジスタ回路を設計する本」で勉強し、トランジスタラジオを設計・製作したことが、電子工作への情熱を呼び起こしました。また、雑誌「初歩のラジオ」で読んだアマチュア無線の記事、特に QRP の紹介は、強く心に残っています。大学に進学したらアマチュア無線をするのかと思いきや、学園祭全般の運営やイベントの音響の世界に行ってしまいました。

開局したのは 1998 年。賃貸マンションで、FM ハンディ機 C701 による小さなスタートでした。初 QSO で「280mW です」と言うと、相手局から「QRP ですね」と返ってきたのも、今の道に進むきっかけだったのかもしれませんが。翌年には HF も始め、以来、すべての QSO を QRP で運用しています。

無線機製作への転機は 2000 年。FCZ 研究所 (JH1FCZ 大久保 OM) の QRP パワーメーターや RF プロブ、50MHz AM「ポケットラ」キットを作ったこと、そして JA7CRJ 千葉秀明 OM 著「ビギナーのためのトランシーバー製作入門 AM SSB 編」に影響を受け、TRX-602 (50MHz SSB) を製作したことでした。以後、オリジナルよりもキットの改造や組み合わせを中心に、25 台の無線機を作ってきました。

QRP での DX にも挑戦し、2012 年に ARRL「QRP DXCC」、翌年には QRP 運用による「DXCC」を取得。なお、自作機での交信先は 39 エンティティ (国内含む) になります。

5W 以下、自作、あるいは、手のひらサイズの無線機で、100km、1000km、そして海外とつながるのは今でも不思議であり、興味深いことと思います。

当クラブとの出会いは、1996 年発行の「QRP ハンドブック」でした。2000 年に入会しましたが、20 年後に役員を務めることになるとは夢にも思いませんでした。地方在住のためハムフェア等への参加は 2014 年からですが、多くの方との交流が私の活動を支えてくれています。



写真1 ハムフェア 2025 にて

環境が変化する中でも、伝統ある当クラブを守り、次世代へと継承し、QRP や自作の魅力を広く発信していくことが我々の使命だと感じています。会員みなさまがより楽しめる場となるよう、また情報交換がさらに活発になるよう、引き続き尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ホームページは 2020 年以後ほとんど更新できていませんが、よろしかったらご覧ください。

JN3DMJ の QRP と自作のページ <http://www.eonet.ne.jp/~k-matsu/index.html>

会計担当 #410 JH1ARY 黒田 守宏

みなさん、こんにちは。2 期目の会計担当に就任しました JH1ARY/黒田です。どうぞよろしくお願いいたします。

生まれは 1960 年です。父が職人だったことで色々な道具が家にあり、物を作ったり壊れたものを分解したりすることが好きな少年でした。ハムの免許は中学 3 年の時に取得し、TS-520 で開局しました。大した交信局数も無いまま、その後趣味は変わり QRT となってしまいました。

QRP は大阪転勤時に、50MHz の 0.1W の TRV を作り、TS-520 を親機に電波を出した所、意外に飛んだ事に驚き、はまっていきました。当時は QRP という言葉さえ知りませんでした。QRP クラブはその時出会った OM さんから話を聞き、ぜひ入会したいと飛びこみました。その後東京に戻り、新宿 QRP 懇親会で沢山の OM さんから刺激を受け、個人技適へのチャレンジもしてみました。そんな事もあり、18MHz トランシーバ FUJIYAMA の企画に声がかかり参画しました。

その後シカゴへの出向となりましたが、CONDX の良い時期と重なり、2*QRP にて日本と交信ができたのには感激しました。帰国後は新しいチャレンジとして 135kHz や 475kHz の免許を取得し無線機

の自作や交信を楽しみました。メーカー機がないので、自分で作るしか無く、昔のハムを感じる刺激的バンドでした。また、そこでアースマットによる GND 方法を学びました。それを使い、1.9MHz の移動運用にて全市全郡に QRP で参加したところ全国 1 位になりました。初めて賞状をもらい感激しました。

会社勤めは昨年で終わりました。コイル屋でしたので、135k、475kHz のアンテナ・ローディングコイルのハイ Q 化は腕の見せどころでした Hi。今は家の整理に追われていますが、落ち着いたら無線機の整備をしたいと思います。

最近は何かのついでの POTA 運用をボチボチやっています。聞こえていましたらどうぞ宜しくお願いします。



写真1 1.9MHz LW(40m)+アースマット GND での ACAG 参加

監査役 #662 JR7HAN 花野 峰行

引き続き監査役を務めることになりました。1955年4月生まれの71歳です。

1969年3月にJA9DTOとして開局しましたが、1978年から1979年頃に常置場所の移動でJR7HANになりました。アマチュア無線に興味を持った経緯となぜ今のコールサインになったのかの推測は、以前の自己紹介(JARL QRP クラブ会報2017年4月号と2020年4月号)書きましたので省略させていただきます、近況を書かせて頂きます。

私のアマチュア無線活動はほとんどが交信です。交信する時は必ずQRPというわけではなく、「その時その時の必要最小限の出力で」がモットーですので、DX通信では免許一杯の200W全力投球もよくあることです。長かった単身赴任を終えて2022年に岩手の自宅に戻っていましたが、昨年念願だったタワーを建てて耳と飛びが少しよくなりました。が、耳の良さに関しては上には上が沢山おられるので、もっといいアンテナに変えたいかなという今日この頃です。特に何もない時はIBP ビーコンか14060kHz(QRP周波数)をBGM代わりにワッチしています。

自作は、キット製作などは少しはしますが、あまり得意ではありません。QRPでは、以前はキットを組み立てて改造したQP-7(7メガ1W送信機)とSR-7(7メガシングルスーパー受信機)で常置場所から300交信ほどしました。が、残念ながらこのペアは2011年の東日本大地震でひっくり返って内部がグチャグチャになって以来お蔵入りしたままです。時間に余裕が出来たらまた再生してやりたいところです。

エレクラフトのキットを組み立てた KX1、K2 と、ある方から譲られた K1 もあり、移動運用や常置場所での運用もしていました。ドレークの R-4C のレストア品を譲って頂いたので、時々引っ張り出して CW や SSB の交信を聞いています。感度がよく、柔らかい音で聴けるのでいつも感心しています。

本業は地熱発電のための調査などで、4 年ほど前に定年退職していましたが、この 4 月末までは継続してほぼフルタイムで働いていました。5 月からはパートタイムになりましたので時間に余裕が出来るかなと期待しています。

今後ともよろしく願いいたします。



写真1 JR7HAN のタワー

監査役 #952 JR2FNK 鶴田 真一郎

このたび監査役を拝命しました、鶴田真一郎です。愛知県在住です。開局は高校生の頃で、当時から無線の魅力にすっかり取り憑かれてしまいました。20代のころは、漁業無線局や練習船の通信士として無線に携わる仕事もしており、電波と共に歩んできた人生と言っても過言ではありません。現在は、主に 430MHz FM 帯での運用や KiCad を用いて製作記事の基板化などしています。QRP の世界は、まだまだ勉強中ですが、諸先輩方から多くのことを学ばせていただければ幸いです。また、無線以外の趣味は革細工で、型紙を起こし、コツコツと手を動かして仕上げていく過程は、無線機をいじる楽しさと同様に感じるものを感じています。クラブの発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



写真1 (左) 製作記事を元に基板化した Xtal テスタと 7mm 角コイルテスタ
写真2 (右) 製作した 430MHz 八木アンテナでの移動運用



写真3 本革仕立て作業用ポーチ

【お知らせ】2025 年度役員会（2026 年春）議事録

※会員限定※

【お知らせ】2026 年度役員会（春）議事録

（「2025 年度会計報告」、「2025 年度監査報告」、「2026 年度予算」を含む）

※会員限定※

※一部会員限定※

◆当クラブに関する連絡先のメールアドレスは以下のとおりです。

qtc2@jaqrp.net	当クラブの活動全般についてのご質問、ご要望、ご意見。 このメールは役員と監査役に届きます。 メールには役員から必ずお返事を出します。
contest2@jaqrp.net	コンテストについての問い合わせ先はコンテスト担当へ。 (ログの提出先メールアドレスは異なりますのでご注意ください。)
kaiin-info2@jaqrp.net	会員情報（メールアドレス等）の変更はこちらへ。 事務局長などに届きます。(ただし、ご意見等がある場合や、退会連絡は qtc2@jaqrp.net をお願いします。)
award2@jaqrp.net	アワード関連についての問い合わせ先はアワード担当へ。
grpnews2@jaqrp.net	会報への投稿などについては編集部へ。

【編集後記】 ※一部会員限定※

#650 JN3DMJ 松本 貢一

当クラブ創立70周年記念式典を2026年11月7日(土)に、東京・渋谷駅付近で開催します。プログラムは検討中ですが、会員のみなさまの多数の参加をお待ちしております(参加申し込みは後日となります)。

西日本ハムフェア(3月8日)に参加しました。当クラブはブースを出展していないので一般参加者でしたが、会員のみなさまにもお会いすることができ、ありがとうございました。当クラブの会員でもありますJG3CCD石本さん、JI3RLY/K8RLY藤田さんが出展されていたので、写真を撮らせていただきました(写真1)。また、藤田さんから50MHz FMでQSOしていただけるということを事前に伺っていたので、ゼロ-1000-51(20年ほど前のアイテック電子研究所のキット、100mW、2009年組み立て、改造あり)を持参し、会場内でQSOしていただきました(写真2,3)。



写真1 JG3CCD石本さん、JI3RLY/K8RLY藤田さんのブース

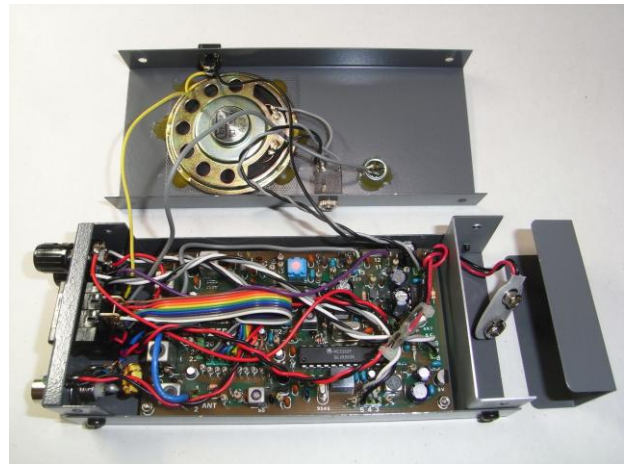


写真 2,3 JN3DMJ のゼロ-1000-51 (アイテック電子研究所のキット、改造あり)

J13RLY/K8RLY 藤田さんからは「私のゼロ 1000-51 は数年前に MC145163 (PLL 用 IC) が不良となり、現在 Arduino と Si5351 を用いた局発への改修を行っています。いつの日かゼロ 1000-51 改を用いてゼロ 1000-51 同士で QSO が出来ればと思っております。」とのコメントをいただきました。私もぜひゼロ 1000-51 同士で QSO してみたいと思います。

次回会報はできれば 8 月に発行したいと考えておりますので、会員のみなさま投稿をお待ちしております (締切: 7 月 20 日)。運用記事も歓迎します。「会員の近況報告」は随時受け付けております。気軽に書いていただければと思います。写真の掲載も歓迎します (写真とタイトルだけでも OK)。

至らない点もあるかと存じますが、引き続きよろしく願いいたします。

JARL QRP CLUB 会報 vol.69-01-Public
公開版

発行 2026 年 5 月 16 日
発行人 JE1UCI 富川 寿夫
編集人 JN3DMJ 松本 貢一
発行所 JARL QRP CLUB
電子メール qrpnews2@jaqrp.net

Copyright (C) 2026 by the JARL QRP CLUB